

京都光華女子大学主催 第4回 英語教育フォーラム

～つなぐ・つなげる・つながる 明日の英語教育～



『光華英語教育フォーラム』を本年も開催いたします。各方面でご活躍のご登壇者には、今一番大切にしたい英語教育の視点をお話しいたします。また、幼稚園から大学までをつなぐ本学園の実践を紹介し、皆様とともに明日を拓く子供たちのための英語教育のありようを考える機会にしたいと思います。小学校で外国語をご指導の先生方はもちろん、校種、ご専門を問わず学校現場の先生方、教員を目指す学生の皆さん、子供を持つ保護者の方、広く英語教育にご関心のある方などどうぞ奮ってご参加ください。

1. 開催日時：令和6年9月8日（日） 13：00～16：45
2. 会場：学校法人光華女子学園 光風館（五条通り南側小中高敷地内）
3. 内容：「これからのつなぐ英語教育を考える」
4. 開催形態：対面及び限定 Youtube での公開

	開会挨拶 主旨説明	高見 茂（たかみ しげる） 田縁 眞弓（たぶち まゆみ）	京都光華女子大学 学長 同 こども教育学部教授
1.	講演① 13:05 ～13:35	バトラー後藤裕子（ごとう ゆうこ） 「国際理解教育と英語教育」	ペンシルバニア大学 教育学大学院 言語教育学部教授
2.	講演② 13:35 ～14:15	早川 優子（はやかわ ゆうこ） 「小中をつなぐ英語教育」	文部科学省 初等中等教育局 外国語教育推進室
休憩（10分）			
3.	実践報告 14:25 ～15:30	田縁 眞弓（たぶち まゆみ） 「つなぐ・つなげる・つながる英語教育」 光華女子学園 英語タスクフォースチーム 「KOKA English ～英語とつなぐ非認知能力・SEL・LBS・ICT～」	京都光華女子大学 こども教育学部教授 光華女子学園 幼・小・中・高・大 英語科担当教員
4.	講演③ 15:30 ～16:40	泉 恵美子（いずみ えみこ） 「子どもたちの明日を拓く英語教育 ～学びと評価の観点から～」	関西学院大学 教育学部・教育学研究科教授
	閉会挨拶 16:40～	谷本 寛文（たにもと ひろふみ）	京都光華女子大学 副学長 こども教育学部学部長

↓申込みフォーム↓



【問い合わせ】

学校法人光華女子学園 学園運営部
〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38
TEL:075-325-5216/Email:kokaenglish@mail.koka.ac.jp



～登壇者紹介（敬称略）～



早川優子

文部科学省初等中等教育局外国語教育推進室。

山梨県小学校教諭として、教科指導・学級指導に力を入れて取り組む。この間、文部科学省英語教育強化地域拠点事業、英語教育推進リーダー中央研修などに参加し、英語力向上・授業力向上に力を注ぐ。

令和元年度より、義務教育課指導主事として外国語教育を推進。

令和5年度甲府市立千代田小教頭として勤務。令和6年4月より現職。



泉恵美子

関西学院大学教育学部・教育学研究科教授。兵庫県立高等学校教諭、兵庫県立教育研修所指導主事、京都教育大学教授等を経て現職。学術博士。日本児童英語教育学会理事、関西英語教育学会理事、英語授業研究会理事など。文部科学省検定済教科書（小・中・高）を始め、編著書に、『深い学び』を促す小学校英語授業の進め方』（教育出版）、『英語スピーキング指導ハンドブック』（大修館書店）、『最新小学校英語内容論入門』『最新小学校英語教育法入門』（研究社）など多数。教員養成／研修に広く携わる。



バトラー後藤裕子

ペンシルバニア大学教育学大学院言語教育学部教授。同大学院で Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL) のディレクターも兼任。スタンフォード大学で Ph. D. 取得後、スタンフォード大学教育研究センターのリサーチ・フェロー、サンノゼ州立大学教師養成プログラムでの教職を経て現職。Educational Testing Service (ETS)、Center for Applied Linguistics (CAL)、British Council、日本英語検定協会等で、子どもの英語アセスメントに関するアドバイザーも務めている。



田縁真弓

京都光華女子大学教授。私立小学校および小中高一貫英語教育実践ならびに教員養成大学での小学校外国語指導を経て2021年より現職。大阪市教育委員会英語統括アドバイザーをはじめ地方教育委員会の小学校外国語指導研修を多数努める。文部科学省検定済教科書著者（小学校）。共著に、『小学校英語だれでもできる英語の音と文字の指導』『小学校で英語を教えるためのミニマム・エッセンシャルズ』（三省堂）、『新編小学校英語教育法入門』（研究社）『小学校英語とストーリーテリング』（研究社）ほか

【光華女子学園：英語教育推進タスクフォースチーム】

〔光華幼稚園〕村上 友見 「英語でこころをつなぐ」

英語のレッスンでは、単に単語を覚えるのではなく、英語ならではの表現する楽しさを味わうとともに英語のツールを通して自分の思いを相手に伝えたい、相手の気持ちが知りたいと思う心、目には見えない気持ち・心を養っている。

〔光華小学校〕一柳 美菜 / 福井 博美 「英語とSELをつなげる」

英語の学習における社会性と情動の学習（Social Emotional Learning）の取組み
今年度、小学校では全教科でSELを取り入れた研究を進めている。社会性を培う学習として、自分の考えや思いを相手に伝えることは勿論、その考えや思いを聞き、聞き手の反応（リアクション）を大切にすること、さらに、コミュニケーションの相手によってコミュニケーションの仕方を工夫することである。また、情動の学習として自分の感情を認知したりコントロールしたりできるような学習の仕方に取り組んでいる。

〔京都光華中学校〕吉田 隆昭 「LBSで小学校と中学校をつなげる」

光華小学校で取り入れている指導を中学校でも取り入れ、語の音や意味を理解して読むだけでなく、自分の思いや考えを発信するための書く活動に発展させる。また、光華小学校でも使用しているLBS指導（Learning By Storytelling）を使用している。中学生1学期から導入することにより、小学校英語から中学校英語への橋渡しとなることが期待される。

〔京都光華高等学校〕岡崎 美紀 「ICTで世界とつながる」

小学校ではグループ、中学校ではペアで実施しているオンライン英会話を高等学校では個別に実施している。昨年度、自宅で受講していたコースも学校での実施に切り替え、全コース授業内での実施となった。内容や頻度はコースによって変え、生徒の実態に合わせている。国際挑戦科ではオンライン英会話導入から既に数年を経て軌道にのっており、授業前後の取組のパターンも定着している。最終的にはこれを全コースにつなげていきたい。